

2016年1月25日

## スバル アイサイトを搭載するフォレスターが

### 2015年度予防安全性能アセスメントで最高ランクのJNCAP「先進安全車プラス(ASV+)」を獲得

このたび、スバル独自の運転支援システム アイサイトを搭載するフォレスター<sup>\*1</sup>が国土交通省と独立行政法人自動車事故対策機構(NASVA<sup>\*2</sup>)が実施する、2015年度予防安全性能アセスメントにおいて、最高ランクであるJNCAP<sup>\*3</sup>「先進安全車プラス(ASV+<sup>\*4</sup>)」を獲得しました。

2015年度予防安全性能アセスメントは、2014年度の評価対象となっている衝突被害軽減制動制御装置(AEBS<sup>\*5</sup>)[対車両]と車線逸脱警報装置(LDWS<sup>\*6</sup>)に加え、ドライバーが直接確認することが困難な後方の視界情報を車内のモニターに映し出す装置(バックビューモニター)の評価として、後方視界情報提供装置の試験が実施され、フォレスターは46点の満点で「ASV+」を獲得しました。

スバル車は、これまでに実施された予防安全性能アセスメントにおいて、アイサイトを搭載するすべての車種が「ASV+」を獲得し、アイサイトを核とした予防安全性能の高さを実証しており、2015年暦年のスバル車の販売台数に占めるアイサイト搭載車の比率は8割を超えています。

2015年11月に行ったフォレスターの大幅改良では、新開発となるアダプティブドライビングビームを採用したヘッドランプを含む先進安全装備「アドバンスドセイフティパッケージ」の展開や、スバル初となるLEDハイ&ロービームランプとステアリング連動ヘッドランプを採用するなど、更なる安全性能の追求に取り組んでいます。

#### <ご参考>

##### ■試験結果詳細(NASVA ホームページ)

[http://www.nasva.go.jp/mamoru/active\\_safety\\_search/list\\_search\\_subaru.html](http://www.nasva.go.jp/mamoru/active_safety_search/list_search_subaru.html)

##### ■スバルオフィシャルウェブサイト(スバルの総合安全)

<http://www.subaru.jp/safety/>

\*1:リヤビューカメラ搭載車

\*2:National Agency for Automotive Safety & Victims' Aid

\*3:Japan New Car Assessment Program

\*4:Advanced Safety Vehicle +

\*5:Autonomous Emergency Braking System

\*6:Lane Departure Warning System



先進安全車プラス(ASV+)



フォレスター  
2.0XT EyeSight